

平成 24 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

事務事業名: コミュニティバス運行事業
予算事業名: 一般会計
担当課: 魅力づくり推進課
事業の性格: 内部管理事務
事業の目的: 町内の集落部から、町の中心部に向けた送迎を担う機能を有し、集落部の住民の生活維持の他、町内の主要拠点(猪野、山田、久原)で町外の移動を行う、幹線路線への接続を担い、その効果として、公共交通利用者の増加、幹線への乗り継ぎの円滑化及び交通空白地の解消を行う。

事業費及び財源内訳 (千円)
項目: 直接事業費, 人件費, 国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源
事業活動の実績 (活動指標)
項目: 1 便当たりの平均利用者数(平日), 1 便当たりの平均利用者数(休日)

向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)
25年度: 10,000
26年度: 10,000
27年度: 10,000
28年度: 10,000
29年度: 10,000
5年間の合計: 50,000

成果指標: 1 便あたりの平均利用者数
指標設定の考え方: 住民のニーズに対応したダイヤ・ルートの編成が行われれば、利用者数も増え運行収入も増加するため
区分年度: 23年度, 24年度, 25年度
実績: 平日6.4人・休日3.6人
目標: 平日6人・休日4人, 平日7人・休日5人

今年度の課題への対応状況 (途中経過)

自己評価(担当者)
目的の妥当性: 4
町民ニーズへの対応: 3
町の関与の妥当性: 3
事業の効果: 2
成果向上の可能性: 3
施策への貢献度: 3
手段の最適性: 3
コスト効率: 3
受益者負担の適正: 3
一次評価者
目的の妥当性: 4
町民ニーズへの対応: 2
町の関与の妥当性: 5
事業の効果: 2
成果向上の可能性: 3
施策への貢献度: 4
手段の最適性: 3
コスト効率: 4
受益者負担の適正: 3

平成 24 年度 事務事業評価シート（裏面） 新規 継続 変更

一般ソフト事業	施設等維持管理	行政事務
---------	---------	------

事務事業名	コミュニティバス運行事業	予算事業名		担当課	魅力づくり推進課
会計名称	一般会計	予算科目	2 款 1 項 12 目	所属長名	久芳 義則
総合計画での位置づけ	豊かな自然と暮らしの便利さが調和したまちをつくる			担当責任者名（記入者）	西村 勝
				電話番号（内線）	
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等		
事業の対象	町内住民		実施期間	【開始年度】	平成 23 年度
				【終了年度】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
事業の目的	町内の集落部から、町の中心部に向けた送迎を担う機能を有し、集落部の住民の生活維持の他、町内の主要地点（猪野、山田、久原）で町外の移動を行う、幹線路線への接続を担い、その効果として、公共交通利用者の増加、幹線への乗り継ぎの円滑化及び交通空白地の解消を行う。		事業の内容	コミュニティバスについては、（株）西鉄バス宗像と運行業務委託を行い、平成24年1月からレスポアル久山を交通連結点として、平日6便・休日4便（町内定時路線 往復26.2キロ）の運行を開始した。平成24年10月に路線・ダイヤの見直しを行い、平日5便・休日5便（往復25.7キロ）の定時運行を実施している。	
改善策の具体的な取り組み（当初）	バス停及び便別の利用状況を毎月集計すると共に、利用者に対するアンケート調査を実施し、住民のニーズ把握を行い、次回のダイヤ・ルート等の改正につなげる		改善策の具体的な取り組み（二次評価後）	当初の改善のみならず、町の実施するイベント時の利用について広報活動を行い、休日の利用増にも取り組みを行った	

（担当責任者） 自己評価	妥当性	目的の妥当性	4	B	B	4	目的の妥当性	妥当性	一次評価	
		町民ニーズへの対応	3			2	町民ニーズへの対応			
		町の関与の妥当性	3			5	町の関与の妥当性			
	有効性	事業の効果	2	C		2	事業の効果	有効性		
		成果向上の可能性	3			3	成果向上の可能性			
		施策への貢献度	3			4	施策への貢献度			
	効率性	手段の最適性	3	C		B	3	手段の最適性		効率性
		コスト効率	3				4	コスト効率		
		受益者負担の適正	3				3	受益者負担の適正		
課題認識	イコバスを利用してもらうために、各地区を周り説明会等を開催し利用促進に努める必要がある 自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、評価したもの。				公共交通の利用者のニーズは様々であり、全部に対応したダイヤ・ルートは難しいところもある。そのため、当面は利用促進に力を入れていくべきだと考える。				課題認識	

施策を踏まえた判断	二次評価（所属長）	<input type="checkbox"/> 一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。	
		<input type="checkbox"/> 町民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	行政評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 【評価 A：計画どおり事務事業を進めることが適当である】 今一度、住民へ事業の趣旨や運行情報を周知し、利用者の拡大に努力されたい。また、トリアスへの乗入れ等、住民が必要とするルートの選定を行い、改善につなげていただきたい。単なるバスの運行だけでは利用者の増加は望めないが、イベント時の利用促進や車内販売等の附帯事業も検討されており、今後期待できるものと思われる。車両サイズの変更も将来的には検討いただきたい。
------------	------	---